

# 建築研究所ニユース



平成23年2月10日

3月24日に LCCM デモンストレーション住宅の完成見学会を開催します  
低炭素社会の先進的エコ住宅: LCCM 住宅(ライフサイクルカーボンマイナス住宅)

(独)建築研究所では、「LCCMデモンストレーション住宅完成見学会」を開催いたしますので、お知らせいたします。

日 時: 平成23年3月24日(木) 14:00～17:30  
(上記時間のうち所要時間は1時間程度です。)  
場 所: (独)建築研究所 茨城県つくば市立原一番地  
主 催: (独)建築研究所、一般社団法人日本サステナブル建築協会  
定 員: 300名  
参 加 費: 無料

**申込み受付開始:平成23年2月24日(木)9:00～ 定員になり次第受付終了**

LCCM 住宅(ライフサイクルカーボンマイナス住宅)とは、住宅の長い寿命の中で、建設時、運用時、廃棄時において、できるだけ省 CO<sub>2</sub> に取り組み、かつさらに太陽光発電などを利用した再生可能エネルギーの創出により、住宅建設時の CO<sub>2</sub> 排出量も含め生涯(ライフサイクル)での CO<sub>2</sub> の収支をマイナス(カーボンマイナス)にする住宅です。

このたびLCCM住宅のデモンストレーション住宅が茨城県つくば市の建築研究所内に完成しました。テーマは、季節や時間に応じて空間環境を変えていく「衣替えする住宅」です。

今回の完成見学会では、デモ住宅の計画・設計に携わった建築家と研究者がコンセプトや具体的な省CO<sub>2</sub>の手法等について説明します。住宅・建築関係の産業や研究に携わっている方々をはじめ、ご関心をお持ちの方はこの機会にぜひご参加ください。

申込み方法等: 申込み手続きやLCCM住宅の詳細等については、建築研究所「LCCM住宅」ホームページをご覧ください。

(独)建築研究所 LCCM住宅ホームページ:

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/lccm/kengaku.html>

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

氏名 宮澤・内藤

電話 029-879-0647(直通)

E-mail [naitou@kenken.go.jp](mailto:naitou@kenken.go.jp)

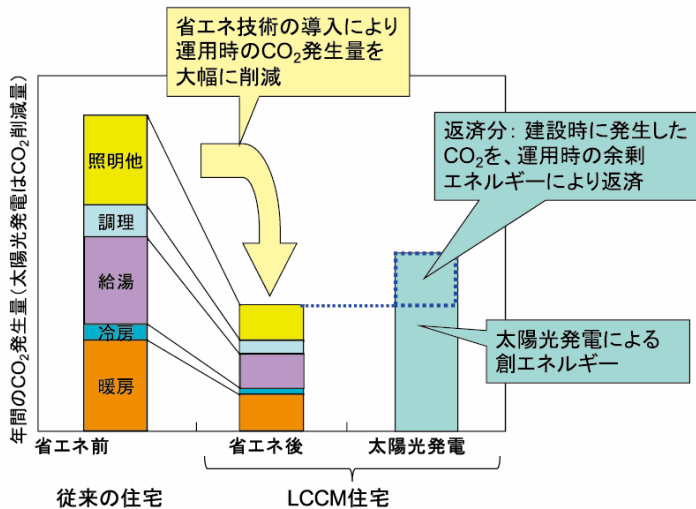
※(当日は、この一般向け見学会の前に、マスコミ向けの見学会を行うことになっております。)

(参考資料) LCCM住宅 (ライフサイクルカーボンマイナス住宅) の概要について

(独) 建築研究所では、国土交通省国土技術政策総合研究所及び一般社団法人日本サステナブル建築協会との共同研究により、住宅分野における二酸化炭素の排出抑制を図るため、低炭素社会における先進的エコ住宅である「LCCM住宅」の研究開発に取り組んでいます。以下にLCCM住宅の概要についてご紹介します。

□ LCCM 住宅 (ライフサイクルカーボンマイナス住宅) とは、住宅の長い寿命の中で、建設時、運用時、廃棄時においてできるだけ省CO<sub>2</sub> に取り組み、かつさらに太陽光発電などを利用した再生可能エネルギーの創出により、住宅建設時のCO<sub>2</sub> 排出量も含め生涯でのCO<sub>2</sub> 収支をマイナスにする住宅として提案されたものです。

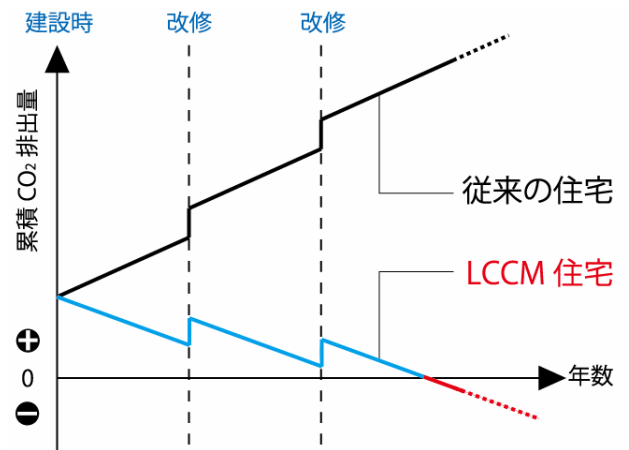
□ 具体的には、まず運用時のエネルギー消費を大幅に削減し、その消費量を上回るような太陽光発電を導入することで、建設時等に発生したCO<sub>2</sub>を運用時の余剰エネルギーにより返済する事になります (図 1)。



(図 1) LCCM住宅のコンセプト

従来の住宅であれば運用年数が増えるほどCO<sub>2</sub>排出量は増えていきますが、LCCM住宅では改修の際には少し増えるものの、全体としてCO<sub>2</sub>排出量は減少していき、ある年数が経過したところでマイナスとなります (図 2)。

□ 今般茨城県つくば市の建築研究所内に完成したLCCMデモンストレーション住宅 (図 3) では、建設時のCO<sub>2</sub>排出量を正確に求めるため、施工中の廃棄物なども含めて施工調査を詳細に実施しました。さらに生活状態を再現した上でエネルギー消費量や温熱環境等も詳細に調査する予定です。



(図 2) LCCM住宅におけるCO<sub>2</sub>排出量の変化 (イメージ)



(図 3) LCCMデモンストレーション住宅/衣替えする住宅